

四国中央市シティプロモーション戦略（案）に係るタウンコメントの結果について

1 募集期間 令和5年2月15日（水）～令和5年3月1日（水）

2 提出者 7名

3 意見等の件数 11件

4 修正した件数 0件

5 意見等の概要及び市の考え方

（ご提出いただきましたご意見は、趣旨を損なわないよう要約または整理させていただいております。）

No	意見内容	対応状況	修正の有無
1	<p><b>専門性・先進性を担保する方策を</b></p> <p>他の市町との優位性を持たせるため、専門性・先進性の担保が必要であり、継続的な情報収集や、専門家・シンクタンクの意見収集の場が必要である。</p>	<p>次年度以降新設予定の「みらい創造アドバイザー会議（仮称）」にて、外部の意見を取り入れながら、専門性・先進性を担保した方策の検討を進める予定です。</p>	無
2	<p><b>高校生対策以外の方策を</b></p> <p>高校生対策は重要な要素だが、比率が多すぎる印象。高校生主体の取組みと、主体的参画のための理論と、当戦略がどのように関連するのか。</p> <p>また、これから増えていくシニア層の幸福度を上げること、幸せに暮らせるまちづくりを考えることも重要である。</p>	<p>当戦略では、第三次総合計画にもとづき、現15-29歳をコアターゲットに据えております。また、その他年代についてもこの戦略の活動に関係しており、幅広い市民が熱量を高め、「選ばれる市」として持続可能なまちを目指すことが重要と考えます。高校生主体のイベント等を先行開催しておりますが、その他年代や、世代を問わない施策についても、次年度策定予定の「アクションプラン」にて検討を進めて参ります。</p>	無
3	<p><b>集客効果・定住者増が期待できる方策を</b></p> <p>若者対象に全国的に集客できるイベントが書道パフォーマンスであれば、その他に四国内で集客できる施策が必要である。立地特性・自然環境等を踏まえ、大型商業施設の誘致や、スポーツ大会の開催・誘致ができないか。</p>	<p>大規模なイベントの充実化や、施設誘致・大会開催は、シティプロモーションにおける観点に含まれると考えております。次年度以降新設予定の各会議体（みらい創造本部会議（仮称）、みらい創造アドバイザー会議（仮称）、各高校のシティプロモーション部（仮称））との協議により、検討させていただきます。</p>	無
4	<p><b>若年層の流出を抑える方策を</b></p> <p>若年層の流出を抑え、また高齢者を支える経済成長力を持続させる施策例として、将来的に求められるIT・情報処理能力・通信技術能力に優れた人材育成や、若年層の高収入が期待できる企業の存在・存続が重要。当市で異業種交流による独自性の高い商品・技術などが生まれるとよい。</p> <p>その他、EV自動車による先進的な取組、</p>	<p>人材育成・産業振興は、シティプロモーションにおける観点に含まれると考えております。次年度以降新設予定の各会議体（みらい創造本部会議（仮称）、みらい創造アドバイザー会議（仮称）、各高校のシティプロモーション部（仮称））との協議により、検討させていただきます。</p>	無

	<p>遊休農地を活用した食の産業振興、グローバル視点のイノベーション、知的財産を活用できる場の提供等も検討してはどうか。</p>		
5	<p><b>具体的なアクションの提示を</b></p> <p>「結∞人」のコンセプトは理解できるが、本市のために何かアクションを起こしたい人がどうすれば「結∞人」になれるのか、今後公募はするのか、市から選定するのか、具体的にどこでどのような活動をするようになるのか、掘り下げて記載いただきたい。</p>	<p>当コンセプトに基づく具体的な施策については、次年度策定予定の「アクションプラン」にて提示予定です。また現時点では、「結∞人」は公募等により選定された特定の責務・役割を担う人物に限定するのではなく、本市のまちづくりに寄与する活動を企画・運営する、又は積極的な参加や発信をする、幅広い市民（及び本市に関心のある方々）を指す総称として定めております。</p>	無
6	<p><b>高校生の活動の一つに市内合同文化祭を</b></p> <p>新設予定の各高校のシティプロモーション部（仮称）にて、市内3高校の合同文化祭を今後の活動の一つとして位置付けられないか（2022年に「しこちゅ〜（ハイスクール）フェスとして開催）。2023年3月5日開催の「18っ祭！」はキックオフイベントであり、次年度以降は合同文化祭として開催するのはどうか。</p>	<p>市内の高校が一体となり企画・運営を行うイベントは、次年度以降も継続を予定しています。詳細は次年度以降新設予定の各会議体（みらい創造本部会議（仮称）、みらい創造アドバイザー会議（仮称）、各高校のシティプロモーション部（仮称））との協議により、検討させていただきます。</p>	無
7	<p><b>イベントの開催を促進する、行政サービスの充実化を</b></p> <p>「大きなイベント」として、書道パフォーマンス甲子園や紙まつりなど市民参加型のアウトタープロモーションができるイベントを、もう一つくらい開催できるようになるといい。また「小さなイベント」として、有志の団体が音楽イベントやマルシェを開催しやすくするための行政の相談窓口の開設や広報活動の支援があると良い。</p>	<p>様々な規模でのイベントの主催及び開催の支援は、シティプロモーションにおける観点に含まれると考えております。次年度以降新設予定の各会議体（みらい創造本部会議（仮称）、みらい創造アドバイザー会議（仮称）、各高校のシティプロモーション部（仮称））との協議により、検討させていただきます。</p>	無
8	<p><b>本市の特色や未来の姿を端的に伝えるキャッチコピーを</b></p> <p>当戦略のストーリーを2〜3行で伝えられると効果的である。例えば「子どもが活躍できるまち」とキャッチコピーで多様な活動に横串を刺せないか。</p> <p>また「結∞人」は本市に住む職員・高校生・一般の市民が考えた案なのか。「結∞人」は一部の意識の高い人を指す限定的な印象もあり、また本市は主役よりも脇役や応援にまわることで高い力を発揮する人が多い印象もあり、市民の感覚と合っているか違和感がある。</p>	<p>当戦略の「結∞人」は、複数のコンセプト案の中から、本市の目指す姿や本市らしさを現す言葉として、職員を中心に選出いたしました。次年度以降、必要に応じて当戦略に関連するステートメント等を策定する予定であり、独自性が端的に伝わる表現については、その際に検討させていただきます。</p>	無

9	<p><b>若年層のヘルスリテラシー向上戦略を</b></p> <p>愛媛県の少子化対策を活用するなど、子育て総合支援拠点整備を軸とした既存概念にとらわれない、子育て環境創出プロジェクトを立ち上げることが望ましいと考えます。</p>	<p>子育て環境を新たな視点で整備し、市民の豊かな暮らしを支えることは、シティプロモーションにおける観点に含まれると考えております。次年度以降新設予定の各会議体(みらい創造本部会議(仮称)、みらい創造アドバイザー会議(仮称)、各高校のシティプロモーション部(仮称))との協議により、検討させていただきます。</p>	無
10	<p><b>若年層はもちろん、幅広い世代の幸せ実感度(ウェルビーイング)の向上を</b></p> <p>市民へのアンケート結果より、8割が「幸せを感じる」「どちらかという幸せを感じる」と回答している一方で、「継続居住意向」が4,5割に留まっている背景には、「子どもたちが憧れるような幸せな人生を歩んでいる大人が少ないのではないかと考える。若年層だけに目を向けるのではなく、年齢問わず学べる大学の創設、学校教育におけるウェルビーイングの授業の浸透、ウェルビーイングの専門家の招聘・講演などを実施してはどうか。</p>	<p>幅広い市民の幸せ実感度(ウェルビーイング)の向上は、市民の熱量を向上させる際に重要な観点と捉えております。当戦略では、現15-29歳をコアターゲットに据えておりますが、その他世代や、世代を問わない施策についても、次年度策定予定の「アクションプラン」にて検討を進めて参ります。</p>	無
11	<p><b>進学・就職機会の充実化を</b></p> <p>大学資格の取得や学び直しができる環境が充実することが望ましい。長期目標として、本市にしながら大学卒業資格が取れるサテライト大学・教室の開講(海外の有名校との提携・大学院併設など)や、短期目標として、戦略書の新規アクション案に掲げられているような、まちの学校・オンライン教室などが実現できるとよい。</p>	<p>教育・学びの充実化は、市民の自己実現・ウェルビーイングの達成において重要な要素であり、シティプロモーションにおける観点に含まれると考えております。次年度策定予定の「アクションプラン」にて、具体的な施策の検討を進めて参ります。</p>	無